

提案書評価基準

1 基本的な評価事項

受託候補者の決定にあたっては、当院にとって最適な事業者を選定するため、公募型プロポーザル方式を採用し、評価点の最も高い提案者を受託候補者とします。

2 評価点

提案書及びプレゼンテーションとヒアリングの内容を評価し、評価点を与えます。
評価委員一人あたりの評価点の満点は160点とします。

3 評価の最も高い者が2者以上あるときの対応

評価項目のうち「業務実施体制」の評価点合計が高いものを受託候補者とします。
これも同点の場合は、評価委員の投票で多数決により当該同点者の順位を決定します。
票数が同数の場合は、委員長の判断により決定します。

4 プレゼンテーションとヒアリングを欠席したプロポーザル参加者の取扱い

失格とし、評価を行いません。

5 プレゼンテーションとヒアリングを欠席した評価委員の評価点の取扱い

プレゼンテーションとヒアリングを欠席した評価委員の評価点は無効とします。

6 評価方法

(1) 評価表の各項目に配分する得点は次のとおりです。

評価項目	配点
1 業務運営体制	50
2 業務実績	10
3 業務実施体制	75
4 ワークライフバランス	5
5 プレゼンテーションとヒアリング	20

(2) 採点方法

各評価項目について A、B、C、D の4段階評価で行います。
評価点はA＝5点、B＝3点、C＝1点、D＝0点とし、重要度を乗じた点数とします。

(3) その他

すべての評価項目を絶対評価により採点します。
評価委員の持ち点の合計（評価委員人数×160点）に対して60%を基準点とし、
基準点に達しない場合は不適格とします。

評 価 表

(1) 業務運営体制

評価項目		評価の着目点
1	運営方針	仕様書に示された基本方針や業務内容に合致した提案内容であるか
2	物品供給体制 (検査機器、試薬等)	病院機能を十分に考慮した機器選定及び、安定した試薬等の供給体制が具体的に示されているか
3	対応の柔軟性	医療環境の変化に対し、柔軟性を持った対応が出来るか
4	人員配置 (受託責任者)	十分な実務経験があるか
5	人員配置 (受託責任者を除く)	検査室運営における人員配置が具体的であるか
6	社員の教育・研修体制	企業としての社員教育・研修体制はあるか
7	危機管理体制	危機管理体制 (インシデント・アクシデント発生時の対応) があるか

(2) 業務実績

評価項目		評価の着目点
1	病床規模300床以上の病院におけるブランチラボ方式による業務受託実績	同規模の高度急性期又は急性期の機能を有する病院におけるブランチラボ方式検査室の構築経験と運営の安定性を評価

(3) 業務実施体制

評価項目		評価の着目点
1	対応の迅速性	検査業務委託における営業体制や対応の迅速性について具体的であるか
2	日当直時の検査対応	日当直体制時の緊急検査項目の対応について具体的であるか
3	業務遂行体制	検査業務遂行が困難になった際の考え方
4	検査情報提供体制	検査情報提供に対する内容や仕組み
5	病院運営支援体制	病院運営を支援する取組みや体制があるか (例：感染防止対策等)
6	精度管理体制	令和6年度における外部評価の結果を下記により評価 ①臨床検査精度管理調査評価表 (日本医師会) ②施設別総合評価報告書 (日本臨床衛生検査技師会)

7	資格・認定	当院の検体を受け入れる自社ラボにおいて、精度等を担保する資格・認定（ISO15189、CAP、CLIA、ISO27001、プライバシーマーク、医療関連サービスマーク（衛生検査所業務）の取得があるか
8	検査室稼動スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・稼動までのスケジュールが明確になっているか ・業務引継が発生する際は、十分な準備体制があるか

(4) ワークライフバランス

評価項目		評価の着目点
1	ワークライフバランス	ワークライフバランスに関する取組みを評価

(5) プレゼンテーションとヒアリング

評価項目		評価の着目点
1	取組意欲・実現性	
2	理解度・専門技術力	